

急性脳梗塞患者に対する入院2日以内 の頭部CTもしくはMRIの実施率



測定対象

《分子》 分母のうち、入院当日または翌日にCT撮影あるいはMRI撮影が施行された患者数

《分母》 急性脳梗塞の発症3日以内に入院し、退院した患者数

解説

脳卒中は、脳の血管が血栓で詰まったり（脳梗塞）、破裂して出血したり（脳出血）して脳組織が壊死する病気です。脳卒中のタイプに応じて、治療方法は異なります。CT撮影やMRI撮影を実施することで、脳出血と脳梗塞を見分けることができ、またの脳組織の壊死の状態等についても把握することができます。適切な治療に向け、CT撮影あるいはMRI撮影を早急に行うことが求められます。

結果

2019年度 100 %

2018年度 100 %

分析

急性期脳梗塞症例の入院診療時は、全例で入院当日にCTもしくはMRI撮影を実施し、適切な治療をめざして診療を行っています。